

管理センター（ヒブ・小児用肺炎球菌ワクチンについては馬頭庁舎健康福祉課、小川庁舎総合窓口課でも可）に印鑑と母子健康手帳を持参の上、申請してください。接種助成券と予診票を交付します。
接種費用 町が指定する医療機関で接種した場合は、個人負担はありません。町外の医療機関で接種を希望する場合は事前にご連絡ください。
 ※この予防接種は、任意接種です。
 ※詳しい接種の方法等は、「広報なかがわ」5月号、6月号をご覧になるか、健康管理センター（☎0287-92-1188）までお問い合わせください。

相続に関する無料相談のご案内

栃木県司法書士会では、2月を「相続登記はお済みですか月間」とし、無料相談会を実施します。
期間 2月1日～29日まで
場所 県内各司法書士事務所
相談内容 相続に関する事項
相談料 無料
問い合わせ 栃木県司法書士会 ☎028-614-1122

水道管の“凍結防止”対策はお済みでしょうか？

次のような場所は特に水道管が凍りやすいので凍結防止対策をしてください。
 ①「むき出し」になっているところ
 ②建物の北側で、日の当たらないところ
 ③風当たりの強いところ

【凍結防止対策】

- 保温しましょう
 「むき出し」になっている水道管や蛇口に、保温材や毛布などを巻きつけ、ビニールでぬれないようにして保温しましょう。また、メーカーボックス内には、発泡スチロール製の保温材や布切れなどをビニール袋に詰めて入れてください。
- 水抜き栓を締めましょう
 蛇口を開け「水抜き栓」をキッチリ締め、水が出なくなれば完了です。

認知症の人と家族の会講演会

①「認知症とホットする介護」
日時 1月29日(日) 午前10時～
場所 西那須野公民館多目的ホール
講師 早川一光先生
定員 150名
申込締切 1月21日(土)

②「認知症の理解とよりそう心」
日時 2月19日(日) 午前10時～
場所 栃木県小山庁舎大会議室
講師 松本一生先生
定員 100名
申込締切 2月10日(金)
 ※①②とも入場料無料です。
問い合わせ・申し込み先
 認知症の人と家族の会栃木支部
 事務局 ☎0287-82-0156

青少年健全育成町民大会

日時 2月19日(日)
 午後1時開会(開場12時30分)
場所 小川総合福祉センター
 あじさいホール
内容 青少年育成功功・善行表彰
 事例発表 講演会
演題 「漂流少女～夜の街に居場所を求める少女たちに寄り添う～」
講師 橘ジュン先生
定員 350名(先着順)
 ※入場無料(整理券が必要です)
 1月16日(月)より配布します。
問い合わせ・申し込み先
 生涯学習課 ☎0287-96-2116
 馬頭公民館 ☎0287-92-2897

子宮頸がん・ヒブ・小児用肺炎球菌ワクチン接種費用を助成

助成対象期間 3月31日まで
 (4月1日以降の接種の助成は対応が決まり次第お知らせします)
接種対象者
 《子宮頸がんワクチン》
 中学1年生～高校1年生の女子
 《ヒブ・小児肺炎球菌ワクチン》
 生後2か月～4歳の乳幼児(5歳の誕生日の前々日まで)
助成方法 医療機関に予約後、健康

**商品パッケージリニューアル事業
参加事業者を募集**

町では、中小企業等の商品開発力の向上及び宇都宮大学の学生の実践的な学習研究を行うため、事業者と学生のマッチングの場を設け、商品パッケージのリニューアルに取り組む「那珂川町産学官連携商品パッケージリニューアル事業」を行います。
スケジュール 募集3月10日まで→参加事業者決定3月中旬→現場見学会・意見交換会4月→デザイン発表会7月中旬→商品化へ向けてのマッチング7月下旬→商品化8月
募集対象者
 町内の中小企業者、産地組合等
募集数 1事業者
応募期間 1月15日から3月10日
応募方法
 所定の応募用紙に必要事項を記入し、添付書類とともに商工観光課まで郵送又は持参してください。
問い合わせ
 商工観光課 ☎0287-92-1116

**地域活性化に関する講演会
開催のお知らせ**

中国そしてタイやベトナムなど東南アジア新興国の発展が日本国内の大手企業はもとより、地方経済を支える中小企業の業績をも左右するまでに至っています。そうした経済の流れに対する理解を深めていただきこれから向かうべき地域経済の未来思考について講演をいただく予定です。
演題 「新興国の発展にともなう国内地方産業の未来思考について」(仮題)
講師 香港経済貿易代表部
 投資推進室長 佐々木由紀雄 氏
日時 1月27日(金)
 午後2時～午後3時30分
会場 馬頭総合福祉センター集會室
受講料 無料
問い合わせ 商工観光課商工係 ☎0287-92-1116

那珂川町の文化財シリーズ
「東光寺の十二支神将像」

新年がはじまり、みなさんも新たな気持ちで学業や仕事に取り組んでおられるのではないのでしょうか。昨年は東日本大震災をはじめ、災害の多い年でした。今年は災害のない、復興の進む年となつて欲しいものです。
 なす風土記の丘資料館・小川館では、冬休み小中学生向け展示会「辰を考古学する」を開催中です。今年の十二支「辰」にあてはめられている動物、「龍」を取り上げ、龍と人との関わりを解説しています。展示品の中から、ある災害を逃れて伝えられた神将像を紹介しましょう。

那珂川町の小砂地区に東光寺があり、地元の東光寺保存会のみなさんがお堂を守っています。東光寺には那珂川町の文化財に指定されている十二支神将像が収められ、当館では冬の展示会にあわせて、三年前から寅像、卯像、そして今回は辰像と、

十二体のうち毎年一体ずつお借りして、展示してきました。十二支神将とは、仏教の薬師如来に従つて、人々を守るときに如來に從つて、人々を守るときに十二人の武神です。十二それぞれの方角や時間を守るとされることから、十二支と結びついて、生まれ年の守護神となっています。

東光寺の十二支神将像は、江戸時代につくられた木彫りの像で、表面には彩色がほどこされています。それぞれの神将は、十二支の動物を頭に載せた姿をしており、辰像は波夷羅という武神の頭に龍がついています。武神も龍もいかめしく怖い顔をしています。龍が頭上に載っている様子は少し面白くもありません。

昭和五二(一九七七)年三月、旧黒羽町から旧馬頭町にかけて、大規模な山火事が発生しました。東光寺はその火事で焼失してしまいましたが、十二支神将像や絵馬などは、周辺の人々によつて救出されました。保存会の方の話によれば、近くの畑に埋めて、燃えないように守つたそうです。平成元(一九八九)年に東光寺のお堂は再建され、そこに神将像は収められています。東日本大震災では、特に被害はなかったそうです。

文化財というと博物館や美術館の展示品などが思い浮かぶかもしれませんが、この神将像のように、地元の人々が今もお祀りし、大切に守っているものもあります。展示会に足を運ばれましたら、そのように文化財を大切に思い、伝えてきた人々の気持ちを感じていただけたらと思います。



(なす風土記の丘資料館 学芸員 永森裕子)

「東光寺十二支神将像 辰像」

阿久津 一	馬頭	(氏名)	(年齢)	(住所)
大森 竹子	和見			
薄井フサ子	小口			
金子ミツエ	久那瀬			
薄井 務	久那瀬			
高野 シツ	久那瀬			
大武 キヨ	富山			
鈴木不二也	大内			
桑野 吉正	谷川			
長山 リキ	大内			
益子 徳夫	小砂			
青木 俊男	小砂			
吉成 浩	小川			
川上 浄	小川			
佐藤 トク	小川			
塚原 藤夫	小川			
菊地 カノ	小川			
船山 フク	小川			
長谷川 幸子	高岡			
窪田 春義	高岡			
佐原 キヨ	芳井			

1月1日現在の人口
 (住民基本台帳)

男	9,478人(-13)
女	9,395人(-14)
計	18,873人(-27)
世帯数	6,122(+1)

()内は前月との比較



小川俊夫さん(松野)宅にある龍のコンクリート像。口から水や火を吹く仕掛けで凄い迫力だそうです。